

はじめに

建設工事は、各種専門工事の総合的組み合わせにより多様化し、かつ重層下請構造で施工されています。このような特色を有する建設業において、建設工事を適正に施工するためには、建設業法を遵守して適正な施工体制を確保することが必要です。

本書では、建設業法で定められた内容について、特に建設工事の施工体制に関する技術者の配置、施工体制台帳の作成、施工体系図の掲示等工事現場で遵守すべき規定を中心に、その趣旨等をQ&Aの形式で解説するとともに、適正な元下契約締結の手順及び下請代金の適正な支払い方法についても説明しています。



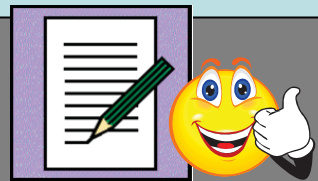

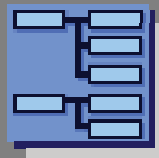

本書が有意義に活用され、適正な元請下請の構築に少しでも役立つことを願います。

平成23年1月

建設業界の赤信号を知ろう！

 値決め前に工事開始	 指し値	 口約束で書面契約なし
 取引先の信用調査をしない	 労災隠し	 安易な多重下請

仕事のやり方を見直そう！

 業界の常識にしばられない	 現場へは技術者を配置	 着工前の書面契約
 従業員研修の実施	 施工体系図で位置を把握	 上下の業者の許可を確認